

春から始める社労士受験！

一発合格必勝法

TAC社会保険労務士講座 講師 武田 暁

1

I ・ 社会保険労務士試験とは 1. 過去5年間の合格率

2

	R元	R2	R3	R4	R5
申込者数	49,570	49,250	50,433	52,251	53,292
受験者数	38,428	34,845	37,306	40,633	42,741
受験率	77%	70.8%	74.0%	77.8%	80.2%
合格率	6.6%	6.4%	7.9%	5.3%	6.4%

合格率は5～6%（100人中5人から6人）

受験率が近年アップしている
※税理士・司法書士に近くなっている
真剣に獲りに来ている



2

I・社会保険労務士試験とは 2.合格者の内訳

3

2023年試験合格者の年齢構成

20歳代以下：11.8%
30歳代：32.6%
40歳代：29.2%
50歳代：18.9%
60歳代以上：7.5%

男女別構成

男性：61.2%
女性：38.8%

社労士試験の特徴

年代は幅広い層が合格している
⇒**記憶力勝負**ではない

女性合格者の比率も高い
⇒**法律試験に特化していない**

士業では社労士は女性比率が最多

他の法律資格とは違う面があります

3

II・社労士試験学習に向けて 1.早期学習のメリット

2025年8月の社労士試験へ向けて、今から学習を始める

- ・計画的な学習習慣を身につけることができる
- ・段階的な学習スケジュールが組める
- ・学習途中でのリカバリーが可能

最大のメリットは

約1年間超の学習をしたことが、本試験への自信に繋がり、
又、合格後も社労士学習をきちんとしたと言える

4

Ⅱ・社労士試験学習に向けて 2.自分を信じる

試験では難問、知らない問題が出題されます
忘れることや記憶が曖昧になることもあります
試験では、普段の実力が全て発揮できることの方が稀です
その困難を乗り越える人

合格者は
自分を信じている (自信)

自分に自信がない
不合格

しっかりとした学習に基づいた自信が最大の武器です
学習の成果 (Output)は自信
自信を持って試験会場へ行けるように

5

Ⅱ・社労士試験学習に向けて 3.社労士試験は初学者に不利か

6

強み

- ・先入観がない
- ・苦手や癖がない
- ・試験に落ちてない

弱み

- ・学習経験不足
- ・全体像が分からない
- ・諦めやすい

初学者は受験経験者に対してスタート時は劣勢
ただし、学習をすることで追いつくことが可能であり、
試験に対してのメンタル部分では優位 (強み) である

6

Ⅱ・社労士試験学習に向けて 4.学習方法の決定

7

自分自身の学習方法を決定する

- ①学習時間の検討
- ②学習スタイルの決定
- ③教材、問題集の選定
- ④学習計画の立案



やみくもに学習をスタートさせるのは挫折しやすい
合格までのスケジュールを見据えて学習方法を考える

7

Ⅱ・社労士試験学習に向けて 5.学習時間の確保

自分の1日でどの時間を学習時間に充てられるか
固定の学習時間の確保が出来るように
時間が出来たから勉強でなく、学習時間を作る努力

自分の生活スタイルを見直して

- 朝、又は夜に学習時間を作る
- 通勤時間の活用
- 休日の活用
- 通学者であれば講義前、講義後、休み時間の活用
家族・友人との時間は減ります
⇒ゴールを決めて確実に合格を目指す

8

学習時間の考え方

時間でなく**何をやるのかを決める**

無駄に机に向かうのではなく
今日やるべきことをやる

そして時間がないときは臨機応変に対応も大切

例：問題集をやる時間がない

⇒問題と解答を読む

後日、きちんとやり直す

9

Ⅲ・一発合格学習方法

1. 学習ステージ

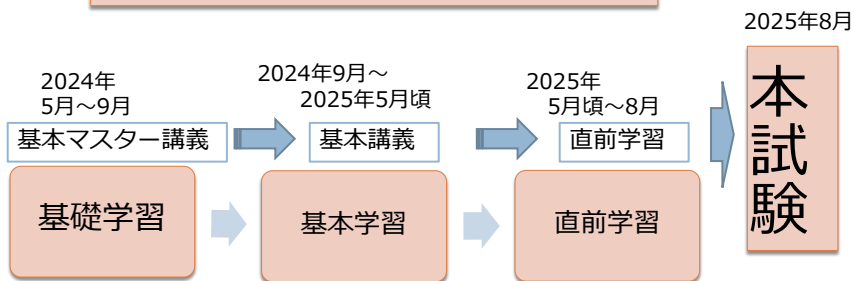
10

学習期間を3つのステージに分ける

①基礎学習 (学習脳づくり)

②基本学習 (知識の定着)

③直前学習 (点数を獲る訓練)



10

Ⅲ・一発合格学習方法 2.基礎学習のテーマ

11

社労士試験の全体像を掴み、学習習慣を作る

- 1日又は1週間の中で定期的な学習習慣を作る
- 試験科目の全体像を掴み、その中で自分が得意又は、興味、関心のある科目を見つける
- 法律の**仕組みを知る**

基本マスター

- ◆ 予習、復習の習慣をつける
- ◆ その法律の目的や全体像を見る
- ◆ **得意科目を見つける**

11

知らないものは怖い

マラソンでコースを知らないと不安です
この先はどうなっているのだろう？
学習でも、全体像が分からないのは不安があって当然
目標点数を定めることも無理です

まず、やる内容を知って学習をする、これが大切です

本格的学習の前にやる内容を**知ることが有効**です
受験経験者は知ってるけど、初学者は知らないから不利？



大丈夫だよ



12

基礎マスターコースのススメ

2025年の合格目標として基礎マスターコース

2024年の春からスタートして**2025年合格**を目指します

主要科目を学習します

まずは**仕組みを知ること**を目標に学習します

でも、基礎マスターの内容で本番でも点数が取れる

	9 月		8 月
基礎マスタコース		総合本科生	試験

9月からの総合本科生の前に基礎マスターコースで学習

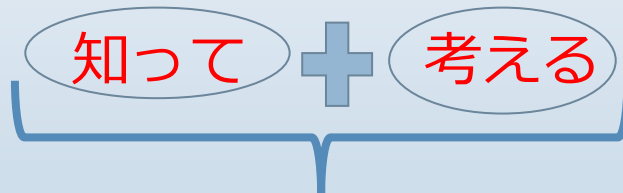
13

基礎マスター時期の大切なこと

試験合格には覚えることは必要です

特に試験対策では、理屈よりも覚えることが優先です

でも、基礎マスターは**覚えるだけの時期**ではありません



確かな理解に繋がる

14

Ⅲ・一発合格学習方法

3.基本学習のテーマ/直前学習のテーマ

15

基本学習

- 暗記でなく内容の理解に努める
- 問題演習を積極的に行う（特に過去問）ただし、○×にこだわらず、その問題のポイントを掴む
- 一つの科目に執着せず、計画に沿って学習を進める

直前学習

- 問題演習を繰り返す（五肢択一、選択式問題）
- 点数を獲るための問題演習を行う
- 法改正のチェック

15

Ⅳ・社労士試験の概要

1.試験科目

16

労働関係

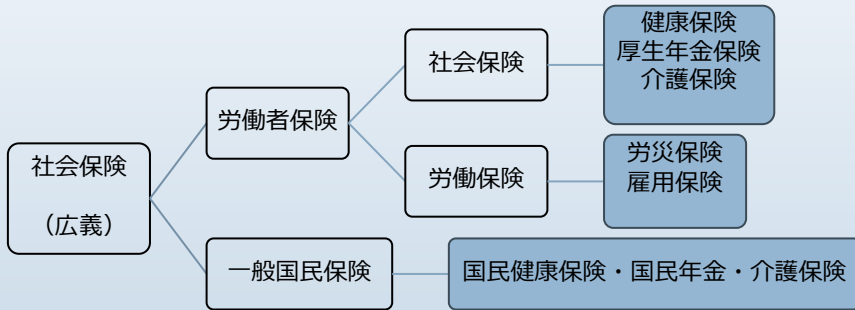
- ・労働基準法（労基）
- ・労働安全衛生法（安衛）
- ・労働者災害補償保険法（労災）
- ・雇用保険法（雇用）
- ・労働保険徴収法（徴収法）
- ・労務管理その他の労働に関する一般常識（労一）

社会保険関係

- ・健康保険法（健保）
- ・厚生年金保険法（厚年）
- ・国民年金法（国年）
- ・社会保険に関する一般常識（社一）

16

社会保険制度



社会保険労務士とは社会保険のプロ



17

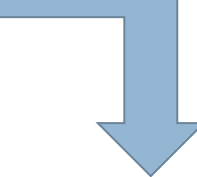
IV・社労士試験の概要 3.試験問題の傾向

18

近年の傾向

- 問題が難化
- 出題形式の多様化
- 問題文の長文化
- 判例・事例問題の出題

なぜか？



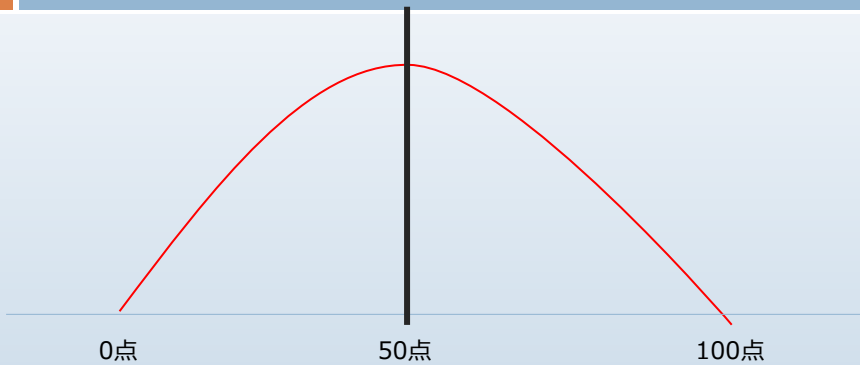
出題者心理考察

- 点数分布を5割付近へ
- 単純な過去問のコピーは×
- 読解力・理解力を問う
- 法曹資格への素養判断



18

IV・社労士試験の概要 4.作問者の意図



中央値に最多の人数になるような点数分布が理想
そのために、出題に工夫している
単純な過去問の焼き直しは減少しているが
論点は変わらない

法律の趣旨が変わらなければ、論点は変わりません

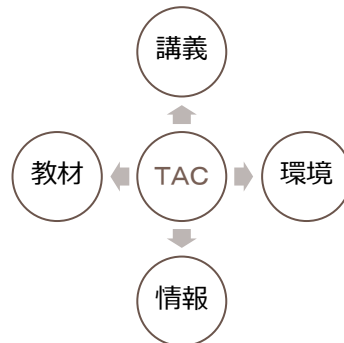
19

V・合格への道 1. T A C活用方法（範囲の経済から）

20

有効性・効率性を良くする為には**範囲の経済**を利かす

- 講義で知識の習得
- テキストの活用
- 学習スケジュールの組立
- 自習室の利用
- 法改正・試験情報の入手
- 模試・各種テストの活用



T A C生は時間・コストを有効活用できる

20